#### 鎌倉市議会議員久坂くにえ

www.kkusaka.net

# くにえ通信



昭和48年2月生まれ 0型 聖心女子大学文学部英文学科卒業 観光厚生常任委員会 広報委員会所属 かがやく鎌倉を創る会所属 前関東若手市議会議員の会神奈川ブロック会長

## 第51号2012年5・6月号 住み続けたいという気持ち

#### ■何が鎌倉に必要なのか~気仙沼市長・菅原市長に伺う~

「海と生きる」

これが、気仙沼市の復興計画のサブタイトル。市民からの公募で名づけられました。気仙沼市は 被災前と同じ街に戻りたい、住み続けたいと思っている被災住民の方の比率が宮城県一高い市だそ 先月、所属する若手市議会議員の会で気仙沼市に視察・ボランティアに訪問し、気仙沼 市長と意見交換をする中で、こういったことを知りました。

どうして市民の方は甚大な被害を受けながらもそう思うのでしょうか。それは、やはり同市には 海がある。そして水産業があるという市民の思いがこの街の復興を期待させているということで、 身の引き締まる重責を感じるという市長の話でした。市民の方の想いに大変感動しました。

やはり特色のある街こそが市民に「ここに住み続ける」という意志を持たせるのだと再認識です。 鎌倉市はすでにブランドカと特色は十分兼ね備えていますが、なお住み続けたいという魅力を維持 するために、利便性・安全性を高めることなどすべきことはまだ様々あります。

また意見交換の中で、鎌倉市も沿岸部を抱えており、今すぐ着手すべき対応策は何かと市長に伺 ったところ、GPS 波浪計での津波の情報入手と分析、そしてそれらの情報を即時に現地に伝える体 制づくり等が必要という意見を頂きました。現在見直しが行われている鎌倉市の防災計画ですが、 その見直しにあたり、これまでの要望に加え、今回の体験を生かした要望を行っていきます。

(河北新報社 4/14→)

炊き出しのボランテ ィアも参加しました。



出しの活動も行った。

市議の会は45歳以下の

今回は



長と意見交換

る」と支援を求めた。 上げてほし 考えを示した。 の移動によって処理コス までに2次処理を終える もある。市長の話を踏 とはあまりない」 も復興がまだ見えな 員の派遣が最も望ま がれきの広域処理に が上がっていくことを 植条会長は「1年たっ 県が2014年3月 「気仙沼のがれ

#### ■山崎浄化センターに高性能放射測定器設置

市立小学校と保育園の給食食材の放射能を測定するためハイレベルの性能を持つ測定装置が山崎浄化センターに先月設置されました。食材すべてを切り刻み、機器にかける手法で、一日3食材を検査することとなっています。食の安全への関心が高まるなか、給食についても様々な陳情をいただいてきました。陳情審査の中でこうした市民の方の声に応えることを行政に要望してきましたが、今回の設置はそれに応える一歩だと思っています。

#### ■玉縄城築城 500 年祭

北条 5 代にゆかりのある、玉縄城の築城 500 年を記念したお祭りが今年 11 月に予定されています。

先般実行委員会の総会が開催され、出席 しました。鎌倉市が全地域において魅力 的な資源の宝庫だという再認識をさせて くれます。なお総会では試作品のマス コットキャラクター玉ちゃん人形を 見せていただきましたので、記念撮影。





### ■かまくら議会だより一面刷新

5月1日号の議会だよりはご覧いただきましたでしょうか。市議会広報 委員会であれこれ議論し合い作成した紙面を見ていただければと思います。 今回は一面のレイアウトを横書きへと変更する事や、議会についての紹介 記事を掲載。市長との市議会の関係性や、市議会の役割、仕事や委員会 等についてのコラムを載せました。今号を皮切りとして今年度は議会の基本 的な事柄を知って頂くことをテーマとしています。

議会についての、これが知りたい!などありましたら、ぜひお知らせください。



ご自宅周りを5枚でも10枚 でもポスティングしてくださる かたを募集しています!

募集しています。

久坂くにえを応援してくださる方 この通信の配布などお手伝いくださる方 サポーターを随時募集しています。 お気軽にご連絡ください!お待ちしています

#### 久坂くにえサポーターズクラブ

〒247-0056 鎌倉市大船 2-10-25-302

TEL/FAX 0467-47-1905 メール:mail@kkusaka.net HP:http://www.kkusaka.net